

やってみよう「ミニブックトーク」【小学校低学年向け】

－シナリオ（例）－

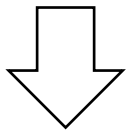
◆長崎県の子どもにすすめる本500選より

テーマ「すきがいっぱい」

「あなたのすきなものって、何ですか。ハンバーグ？ぬいぐるみ？電車がすきな人もいるかもしれませんね。このこぶたのすきなものは、ちょっと変わっています。」

（1冊目 表紙を見せて）

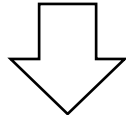
①「どろんここぶた」
アーノルド・ローベル／作
岸田衿子／訳



（p.6～p.7読み聞かせ）ところがある日、おばさんがぶたごやを大掃除してしまったから、さあ大変。こぶたの大好きなどろんこがなくなってしまう。怒ったこぶたは家を飛び出し、どろんこ探しの旅に出ます。

こぶたの好きなどろんこは見つかるのでしょうか。続きはこの本を読んでみてください。

「こぶたはどろんこがすきだったけれど、みんなそれぞれの『すき』があると思います。今日は『すきがいっぱい』をテーマに本を紹介していきます。（テーマの提示）」

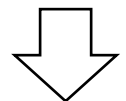


テーマ：「すき」がいっぱい

「すきなものを伝えるのは簡単だけど、どのくらいすきか伝えるのって、難しいよね。このおはなしに出てくる2羽のウサギは大の仲良し。お互いのことをどれだけすきか、伝え合いっこします。」

（2冊目 表紙を見せて）

②「どんなにきみが
すきだかあててごらん」
サム・マクブラットニィ／ぶん
アニタ・ジェラーム／え
小川 仁央／やく



好きなものの
動作化する

（本を開いて挿絵を見せながら）例えば、腕を思いっきり伸ばしたり、ぐーんと背伸びしたり…。チビウサギの、デカウサギに負けないくらい大きな「すき」って気持ち、ちゃんと伝わるかな。

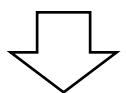
「すき」って気持ちは目に見えないから、伝えるのって難しいね。あなただったら、どんなふうに「すき」の大きさを伝えますか。

「どんなにきみがすきだかあててごらん」でした。

「すきな気持ちを持ち続けることって、とっても素敵なことです。最後は、そんなことを教えてくれる本を紹介して終わります。」

（3冊目 表紙見せて）

③「時計つくりの
ジョニー」
エドワード・
アーディソーニ／作
あべきみこ／訳



（最初から2頁目まで、7頁読み聞かせ）家族にも学校の先生まで分かってもらえないジョニーですが、理解してくれる友達に支えられて、一生懸命頑張ります。ジョニーは、本物の大時計を作ることができるのでしょうか。

「すき」という気持ちは、強い心をつくるのですね。皆さんも「すき」という気持ちを大切にしてお過ごしくださいね。

「今日は3冊のおはなしを紹介しました。（紹介した順に本の表紙を見せて並べる。）どれも図書室にある本です。今からブックリストを配りますので、もし読みたいと思ったら、ぜひ本を借りて読んでみて下さいね。（ブックリスト配布）」